

第3回災害対策本部会議議事録

日時：平成23年3月12日（土）9：04～10：05

- 知事：北茨城市の人的被害はどうなっているんだ？
- 情報班：確認する。
- 東京電力：県南側から復旧作業を進めている。県内の電力設備がギリギリであるため、栃木県の設備を利用することも検討する。今後の見通しがわかり次第連絡する。
- 保健福祉部長：水戸協同病院は建物損壊のおそれがあるため、160名を移送する。25名の透析患者については、土浦協同病院に移送する。取手協同病院については、旧棟が倒壊するおそれがあるうえ、新棟との渡り廊下も倒壊するおそれがあるため、移送を検討している。本県ではDMAT18チームが活動することになった。
コカコーラからは現在目録だけだが、15,600本の飲料水を手配した。公的備蓄についてはほとんど出払ってしまう見込である。
独居老人の避難状況について、23団体から回答があった。多くの団体で避難状況が確認できていない。
障害者施設及び社会福祉施設の被害状況については、調査を進めているところ。
- 土木部長：那珂IC付近では3面陥没しており、下りで対面通行を実施中。ただし、緊急自動車のみ。段差については、鉄板を敷いて対応されている。
岩間IC以南の復旧は概ね完了しているが、一般車の開放はまだ早い。
北関東道開通式典の開催の有無については、14日に判断する。
国土交通省のテックフォース21名が来庁しており、今日、現場確認をして今後の技術的支援のための調整を行う。
- 警察本部長：常磐道及び東北道については、災害対策基本法に定める緊急輸送道路となり、緊急自動車のみ通行可能。北関東道については確認中である。海岸部に警備部隊を派遣し、情報収集を実施している。
- 自衛隊施設学校長：2普通連隊及び施設学校のおよそ各300名、計1000名が集結している。県と調整を図りながら出動を行っていく。毛布は3,000枚保有しており、食料は必要に応じて手配する。
自衛隊ヘリで現場視察を実施した結果を報告する。大洗町及び鹿嶋市において、津波の影響により各々2,000戸の住宅が浸水していると考えられる。ひたちなか市でも1,000戸程度、日立市及び北茨城市についても大規模な浸水が発生していると考えられる。内陸の国道349線沿いについては大丈夫のようだ。ニーズに応じて出動することになるが、海岸線を重点的に対応することになる。
- 知事：土砂の撤去とか。どのような支援活動をしていただけるのか。
- 自衛隊施設学校長：第1段階では情報収集及び人命救助を最優先とする。海岸沿いの県

北・県央・鹿行に1隊ずつ出動することになる。第2段階として本格的な復旧活動に入る。

- 知事：津波による避難勧告が出ている地域もあるので、安全に配慮して活動されたい。
- 自衛隊施設学校長：安全を十分に確保して活動する。なお、古河及び勝田には重機があるが、仙台に派遣される可能性があるため、県内で使用できるかは未定。
- 知事：福島第2発電所はなぜ緊急事態宣言になったんだ？
- 原子力対策班：第1発電所と同じ状況である。非常用電源が作動しないために冷却ができない状況にある。
- 農林水産部長：漁港では液化化現象が見られる。平潟港では冠水、施設の流出があった。断続的に津波が発生している。那珂湊港では胸元まで海水が押し寄せているとのこと。湾外に退避していた船舶が徐々に戻りつつある。鹿島港の岸壁に崩壊している箇所がある。また、大子町の林道でも亀裂が見られる。
- 情報班長：北茨城市については、男性1名が倒壊した家屋の下敷きになって死亡、また、別の男性1名が転倒して死亡とのこと。後者については、地震との関連性を調査中。
- 知事：那珂湊の津波はもう引いているのか。
- 危機管理監：ヘリテレの映像では既に引いているようだ。
- 企画部長：TXについては秋葉原～八潮間9：10運行再開。茨城空港については、今日8時から業者による点検、修理を行う予定。なお、今日の便は全便欠航となった。
- 総務部長：行政棟より議会棟の方が被害が大きい。生協の施設では、食堂の天井が崩れており、しばらく営業は不可能である。
- 知事：先ほどの記者会見で要望のあったとおり、備蓄物資一覧を記者クラブに配ること。
- 保健福祉部長：県の備蓄については底を尽きそうである。
- 知事：残部がわかるような形で資料を加工すること。
- 危機管理監：第4回の本部会議は16時開催予定でよろしいか。
- 知事：状況を見て判断すればよい。遅くならないように。